

岩手山の山体変動観測（1999年2月～1999年5月）*

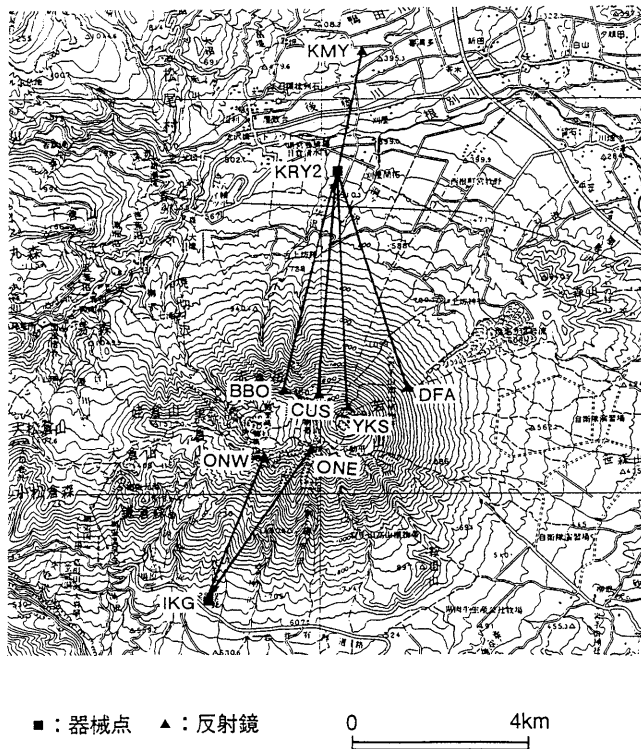
Ground deformation monitoring on Iwate volcano by EDM and
GPS between February 1999 and May 1999

地質調査所**

Geological Survey of Japan

地質調査所では、1998年6月から岩手火山の山体変動観測を継続して実施している^{1) 2)}。光波測距観測網を第1図に、北側の光波測距結果を第2図にそれぞれ示す。

光波測距は、山体の南側と北側に自動連続測距の器械を、山頂部、東中腹及び北山麓の計7点に反射鏡を設置して行った。北側の器械点KRY1から反射鏡CUS及びBBOの間の斜距離は、1998年10月初めまでは、繰り返し手動観測で測定した。南側の器械点IKGからは反射鏡ONW及びONE間の斜距離を1998年6月末から自動連続で測定したが、機器の故障及び積雪等の障害のため、1998年の測定は11月中旬までのみ行われた、その後、IKG観測点の機器を移設し、1999年5月から自動連続測定を再開した。



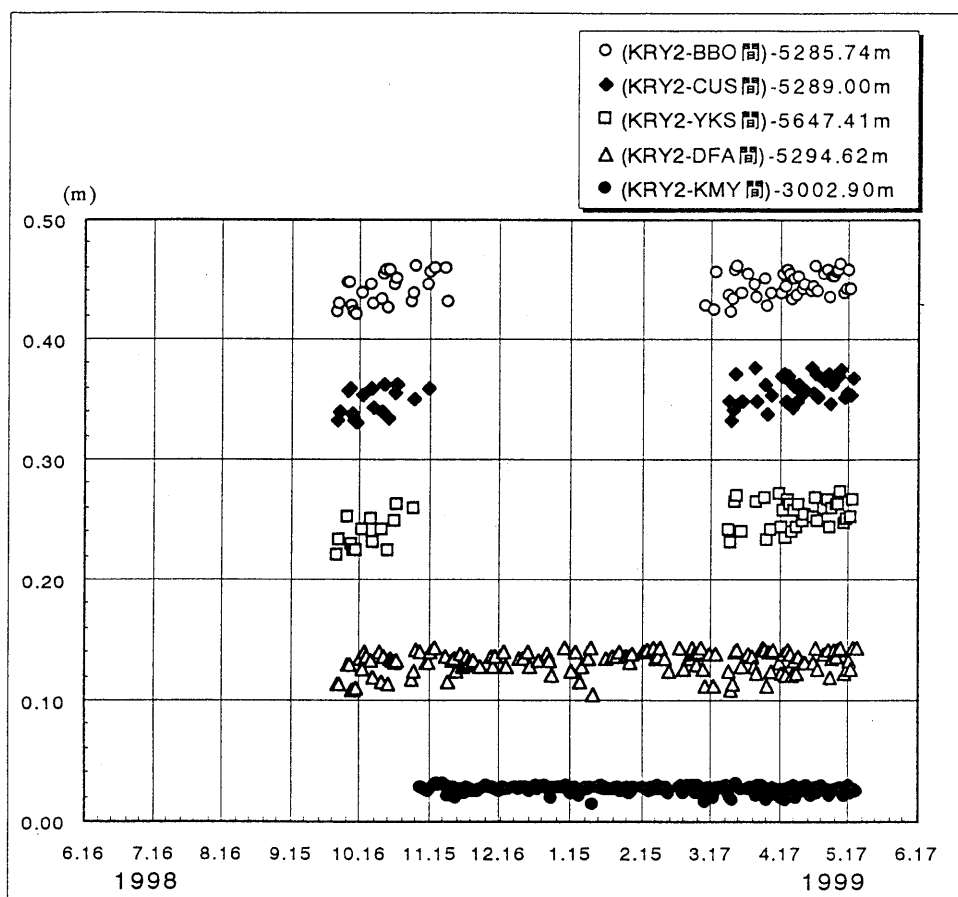
第1図 岩手山光波測距観測網

Fig. 1 EDM network on Iwate volcano. ONW, ONE, BBO, CUS, YKS, DFA and KMY : reflector target; IKG, KRY1, and KRY2; instrument station.

* Received 7 July, 1999

** 斎藤英二・渡辺和明・須藤 茂

Eiji Saito, Kazuaki Watanabe and Shigeru Suto



第2図 岩手山北側光波測距結果
夕方の方のデータのみを示した。

Fig. 2 Change in slope distances on the north of Iwate volcano. Selected data in the stable atmospheric condition in the evening are plotted.

KRY2からは反射鏡CUS, BBO, YKS, DFA, KMY間の斜距離を1998年10月から自動連続で測定した。積雪等の障害のため、山頂部の反射鏡との間の斜距離データは、1998年12月-1999年3月の間は得られなかった。第2図に明らかなように、器械点と山側の反射鏡点の間に少量の伸びの傾向が認められるが、大きな変化は認められない。

参 考 文 献

- 1) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1998年6月-1998年10月), 噴火予知連会報, 72, 29-30.
- 2) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1998年10月-1999年2月), 噴火予知連会報, 73, 25-26.